

高齢者医療制度への拠出金が増加

令和2年度予算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会が2月20日に開催され、収入支出予算案などの議案が全会一致で承認されました。

一般勘定の予算総額は、前年度から1億6759万8千円増の8億4484万円、繰入金などを除いた経常収入合計は6億1079万円、予備費等を除いた経常支出合計が7億5018万3千円、経常収支差し引きは1億3939万3千円の赤字予算になりました。

平成31年度予算は1192万5千円の赤字でしたが、令和2年度は前期高齢者納付金が前年度から1億2650万円の増額となり、財政状況は大幅に悪化しました。健康保険組合を取り巻く財政環境は今後も高齢者への納付金の増加など、さらに厳しさが増すものと予測されます。

組合会では、第2期データヘルス計画を着実に進めるため、母体とのコラボヘルスの強化を推進することが了承されました。

令和2年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の1000分の88とし、保険料収入は6億963万1千円、前年度予算から105万9千円減、調整保険料収入1165万円、調整保険料率が前年度から1000分の0・15引き上げの1000分の1・65に改定されたことにより前年度から106万円増と見込んでいます。納付金の激増などに対応するため、法律で定められている準備金を2億円

も取り崩して繰り入れていきます。収入ではこのほか、財政調整事業交付金に240万円、雑収入に90万9千円を計上しました。

支出

事務費2466万円、保険給付費(法定給付費)全体で3億6067万8千円を計上、高齢者医療制度にかかわる納付金等が3億2700万7千円、保健事業費は特定健康診査事業費(特定健診・特定保健指導)624万円、保健指導宣

令和2年度収入支出予算の概要

一般勘定

予算基礎

●被保険者数

2,065人

●平均年齢

29.08歳

●平均標準報酬月額

265,000円

収入

科目	予算額(千円)
健康保険収入	609,631
保険料	609,631
国庫負担金	250
調整保険料収入	11,650
繰入金	200,000
国庫補助金収入	20,000
財政調整事業交付金	2,400
雑収入	909
合計	844,840

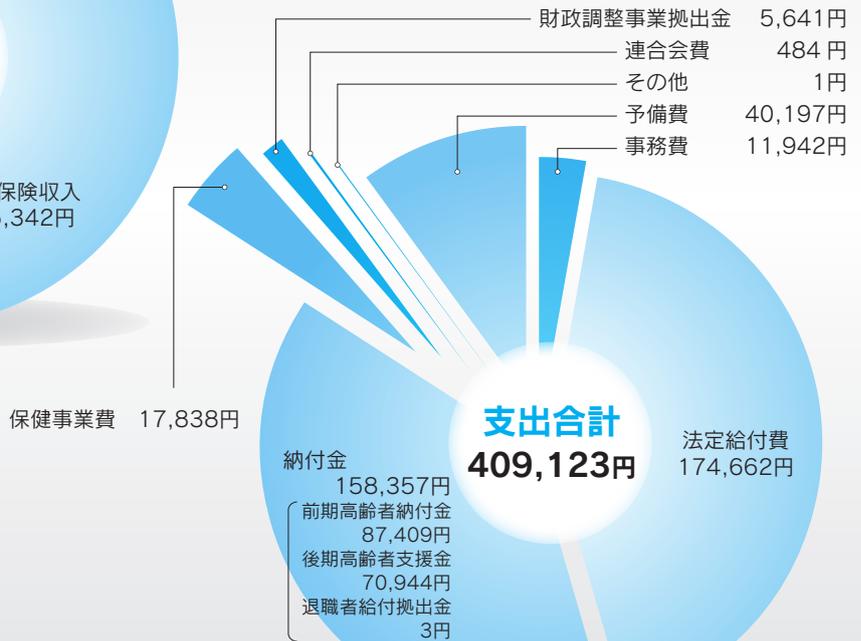
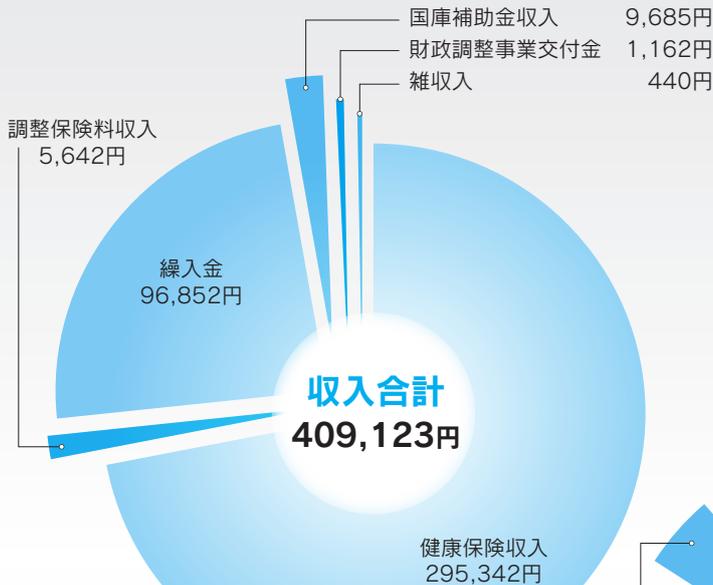


支出

科目	予算額(千円)
事務費	24,660
保険給付費	201,503
法定給付費	135,102
本人	2,401
家族	21,672
高齢者	180,500
高額療養費	146,500
納付金	1
前期高齢者納付金	6
後期高齢者支援金	6,000
病床転換支援金	240
退職者給付拠出金	4,144
保健事業費	26,452
特定健康診査事業費	11,649
特定保健指導事業費	1,000
保健指導宣伝費	3
疾病予防費	83,007
財政調整事業拠出金	
連合会費	
その他の	
予備費	
合計	844,840

令和2年度予算を承認

伝費414万4千円、疾病予防費2645万2千円を計上、保健事業費全体で3683万6千円、その他の支出と予備費を含めた予算額は収入支出ともに8億4484万円と、前年度から1億6759万8千円増の予算としました。



被保険者1人当たり収支

令和2年度収入支出予算の概要

介護勘定

予算基礎

- 第2号被保険者数
本人 150人 家族 40人
- 介護保険料率 20/1000
- 平均標準報酬月額 320,000円

	科目	予算額(千円)	1人当たり額(円)
収入	介護保険収入	13,000	86,667
	繰入金	2,000	13,333
	国庫補助金	1	7
	雑収入	1	7
	合計	15,002	100,013
支出	介護納付金	12,500	83,333
	予備費	2,502	16,680
	合計	15,002	100,013

介護保険収入1300万円、準備金からの繰入金200万円、支出は介護納付金が前年度から300万円減の1250万円、予備費に250万2千円を計上しました。介護保険予算額は前年度から85万8千円減の収入支出ともに1500万2千円となっています。

介護保険料率は据え置き

介護勘定